



「愛知連盟ハイアドベンチャープログラム2025」実施要項

令和6年8月26日

東海自然歩道の一部で新城・吉川野営場の周辺でもある奥三河地域の広大なフィールドを舞台に、自らのスカウト技能や知識を駆使し、幾つもの山々を縦走し、高度な野外活動を展開することによりベンチャースカウト年代で必要不可欠な移動野営を修得すると共に、仲間と苦難を共にし、コミュニケーションを深めることにより、今後のスカウト活動への更なるステップアップや地域の仲間や後輩にも指導できる人材として成長することを期待し、ハイアドベンチャープログラムを提供するもの。

また、併せて、愛知連盟が隔年で派遣する「日本連盟アメリカ・フィルモント派遣」等への関心を高めると共に、ベンチャースカウト部門の隊指導者には、ハイアドベンチャープログラムの展開に必要な支援スキルと、将来的には同等のプログラムが地区・地域で開催できるよう、本事業の展開ノウハウを修得する機会とし、事業の継続性を図るものとする。

名 称	愛知連盟ハイアドベンチャープログラム 2025 (Aichi Council High Adventure Program 2025 略称: A-HAP2025)
テ ー マ	森の行者 コノハズク ～更なる高みを目指して～
目 的	奥三河地域の鳳来寺山周辺の山岳トレイルに挑み、高度な野外生活の中での未知なる挑戦、仲間との協力、自然への畏敬の念を養うことで人格形成と成長を図るものとする。
目 標	<ul style="list-style-type: none">・自らの参加目的が明確となる取り組みとすべく、活動に伴う企画・計画や事前の準備が行えるようになる。・自らのスカウト技能や知識を駆使して山岳トレイルに挑戦し、完歩する。・同年代の仲間との活動でコミュニケーションスキルを磨くと共に、難関な課題を乗り越える力や精神力を養う。・自然の美しさと厳しさを改めて体感し、感動する豊かな心を育て、自然との共生に感謝する。・フィルモント派遣や富士特別野営などのハイレベルな活動への関心を高める機会とする。・支援指導者と共に隼スカウト章取得への進級計画を確実なものとし、加えて富士スカウト章取得を視野に入れる契機とする。
事業の計画	本事業は、県連盟行事・国際委員会の所管とするが、スカウトの進歩促進にも配慮することを踏まえ、次で構成する実行委員会にて計画する。 なお、実行委員長は、実行委員の互選で選任する。 <ul style="list-style-type: none">・県連盟行事・国際委員会の委員長・副委員長、及び委員長が指名する委員等・県連盟スカウト進歩委員会の委員長・ベンチャー部門及びローバー部門を担当する県副コミッショナー
事業の運営	本事業は、実行委員会のもとに次の構成による運営本部を設け、当該本部スタッフ 30 名程度が中心となり、準備・運営する。 <ul style="list-style-type: none">・実行委員会メンバー・実行委員長が県コミッショナーの了承を得て指名した成人指導者・参加ベンチャースカウトのプログラム実施支援のために運営スタッフとなるローバースカウト ※本要項にて公募(後述)。・その他、プログラム運営上、実行委員会が必要と指名する者
実施期間	令和7年3月20日(木)～23日(日) 集合：3月20日(木) JR 飯田線 新城駅(予定) 解散：3月23日(日) 愛知連盟 新城・吉川野営場(予定)

- 会 場** ・東海自然歩道(岩古谷山・鞍掛山・新城四谷の千枚田・宇連山・愛知県民の森を縦走する)を中心とした奥三河地域
 ・愛知連盟 新城・吉川野営場
- 内 容** ・山岳トレイル 2泊3日による移動野営、及び新城・吉川野営場でのグループ活動
 ・参加スカウトによる自主プログラム
 -自らの参加目標に合わせた活動を企画・計画(進級課目への挑戦など)
 -山岳トレイル、移動野営の知識や技能の修得
 -事前の自己研修と自己訓練の実施、事前集会などを含むグループ活動の展開
- 日 程** 【参加スカウト事前集会】
 (予定) ・2月2日(日)13:00～16:30 第1回事前集会(会場未定)
 ・3月2日(日)13:00～16:30 第2回事前集会(会場未定)
 ※日程は変更の可能性がある。詳細は別途、参加決定者に連絡する。
 事前集会には、後記の支援者(所属隊の隊長または団内の指導者)も参加する。
 ※上記の他、メンバー同士での準備集会が予定される場合がある。
- 【支援指導者事前集会】
 ・1月26日(日)13:30～15:00 邦和セミナープラザ (予定)
- 【プログラム当日】
 ・3月20日(木) JR飯田線新城駅に集合し、和市へ車で移動し、山岳トレイル出発。
 (和市→岩古谷山→鞍掛山→四谷千枚田)
 ・3月21日(金) 山岳トレイル(四谷千枚田→仏坂峠→宇連山→県民の森)
 ・3月22日(土) 山岳トレイル(県民の森→三河槇原駅(電車)→本長篠駅(トレイル再開)→
 新城・吉川野営場)
 歓迎の営火、ウェルカムナイト、トレイル報告交流会
 ・3月23日(日) 新城・吉川野営場での野外プログラム(予定) クロージングセレモニー
- 参 加 費** 15,000円
 ・本事業経費は、原則、参加者(運営スタッフを含む)による参加費で運営される。
 ・上記には、個人装備、事前訓練・当日の現地までの交通費等は含まない。
 <内訳>食材携行食費用(トレイル初日と翌日の朝食を除く、7食分)、プログラム費(プログラム消耗品)、野営場使用料、記念品他
- 事業の対象** 【部門と定員】
 (参加スカウト) ベンチャースカウト 28名
- 【資格】
 (1) 令和6年度にベンチャースカウトとしての加盟登録があり、令和6年12月31日までに菊スカウト章を修得済であること。※中学3年生(高校入学前のスカウト)の参加は認めない。
 (2) スカウト運動に積極的に参加し、隼スカウト章・富士スカウト章修得に向け取組中であり、団や地区の推薦のある者。
 (3) プログラム実施期間、及び事前訓練・事前のグループ会議等に参加できること。
 (4) 心身ともに健康で、山岳トレイルに耐えうる体力があり、かつ、参加者5～6名で編成するクルーメンバーの一員として協力した行動がとれること。
- 【地区の推薦条件】
 地区は参加スカウトの推薦にあたって、所属隊の隊長または団内の指導者の支援について、次の事項を予め確認し、参加決定後は支援指導者の活動について責任を持つこと。
 (1) 申込スカウトは参加スカウト事前集会に、申込スカウトの支援指導者は支援指導者事前集会・スカウト向け事前集会に参加できること。
 (2) 支援指導者は、参加スカウトの準備(企画書・計画書作成等)、事前訓練・プログラム実施期間の参加等に対して必要な支援ができること。

- (3) 本プログラム終了後の参加スカウトの進歩促進に積極的に寄与すること。
- (4) 参加申込を行う地区のVS部門担当地区副コミッショナーは、支援指導者事前集会に参加し、支援指導者と情報を共有し、積極的に支援を行うこと。

【申込期限】

令和7年1月14日(火)

運営スタッフ
の参加要件

【対象】

ローバースカウト

【定員】

10名程度

【資格】

- (1) 令和6年度にローバースカウトとしての加盟登録があること。
 - (2) 心身ともに健康で、山岳トレイルに耐える体力に自信がある、もしくは、移動野営やベースキャンプでの生活支援を行うことができること。
 - (3) ベンチャー部門のスカウトを指導するに適した知識・経験と人柄を有すること。
 - (4) プログラム実施期間、及び事前訓練・事前のグループ会議の他、準備の諸会議・現地見等に積極的に参加できること。
 - (5) 本プログラムへの参加を通じて、自己成長を図るべく、目的をもって参加できること。
 - (6) 今後のハイアドベンチャープログラムの発展・継続に寄与することができること。
 - (7) 本プログラム実施期間と同時期に開催される日本連盟・県連盟が主催する事業等で、同様の実務担当者になっていないこと。
- ※上記に定める実行委員、及びプログラム運営上、実行委員会が必要と指名する者は申込不要とする。

【申込期限】

令和6年9月30日(月)

参加申込

- (1) 上記の資格を有する参加希望者は必要書類を調べ、所属隊・団・地区の推薦を受け、**それぞれの申込期限**までに、地区を通じて愛知連盟事務局へ申し込む。
なお、申込用紙は、所定の専用申込書(ベンチャースカウト・スタッフ別の参加申込書、および健康調査書)とする。
- (2) 申込者数が参加定員を超える場合は、実行委員会にて選考を行なう。
- (3) 参加費は、実行委員会が発行する参加費請求書に従って、参加スカウト・運営スタッフの所属地区(事務長)が取りまとめ、令和7年2月末日までに愛知連盟事務局へ納入する。
- (4) 問合せおよび申込先
一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟事務局
〒453-0016 名古屋市中村区竹橋町36番31号 旧中村区役所2階
TEL:052-414-6380 FAX:052-414-6385 e-mail: office@aichi.scout.jp

備考

【新型コロナウイルス等感染症対応】

- ・プログラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス等感染症拡散予防の対応を計画するので、プログラム前後・期間中の体調確認・携行品等、運営スタッフの指示に従うこと。
- ・新型コロナウイルス等感染症の拡大状況によっては、予定や開催方法等を変更することがあるので、予め了承のこと。
- ・やむを得ずプログラムが中止となった場合は、中止決定時までに要した準備費用を差し引き、参加費は返金の予定。